三　この表において「粉じん等」とは、粉じん、ばいじん及び自動車の運行又は建設機械の稼働に伴い発生する粒子状物質をいう。
四　この表において「重要な地形及び地質」、「重要な種」及び「重要な種及び群落」とは、それぞれ学術上又は希少性の観点から重要なものをいう。
五　この表において「注目すべき生息地」とは、学術上若しくは希少性の観点から重要である生息地又は地域の象徴であることその他の理由により注目すべき生息地をいう。
六　この表において「主要な眺望点」とは、不特定かつ多数の者が利用している景観資源を眺望する場所をいう。
七　この表において「主要な眺望景観」とは、主要な眺望点から景観資源を眺望する場合の眺望される景観をいう。
八　この表において「主要な人と自然との触れ合いの活動の場」とは、不特定かつ多数の者が利用している人と自然との触れ合いの活動の場をいう。
九　この表において「放射線の量」とは、空間線量率等によって把握されるものをいう。

別表第二建設工事に伴う副産物の項の次に次のように加える。

	放射線の量（粉じん等の発生に伴うもの）	堤防の工事、水門の工事及びしゅんせつの工事	放射線の量（土砂による水の濁りの発生に伴うもの）
一　調査すべき情報	イ　放射線の量の状況 ロ　気象の状況	同左	同左
二　調査の基本的な手法	文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析		
三　調査地域	粉じん等の拡散の特性を踏まえて放射線に係る環境影響を受けるおそれがあると認められる地域		
四　調査地点	粉じん等の拡散の特性を踏まえて調査地域における放射線に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点		
五　調査期間等	粉じん等の拡散の特性を踏まえて調査地域における放射線に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯		
一　予測の基本的な手法	事例の引用又は解析		
二　予測地域	調査地域のうち、粉じん等の拡散の特性を踏まえて予測地域における放射線に係る環境影響を的確に把握できる地点		
三　予測地点	粉じん等の拡散の特性を踏まえて予測地域における放射線に係る環境影響を受けるおそれがあると認められる地域		
四　予測対象時期等	工事による放射線に係る環境影響が最大となる時期		
一　予測の基本的な手法	事例の引用又は解析		
二　予測地域	調査地域のうち、流域の特性及び土砂による水の濁りの変化の特性を踏まえて放射線に係る環境影響を受けるおそれがあると認められる地域		
三　予測地点	流域の特性及び土砂による水の濁りの変化の特性を踏まえて予測地域における放射線に係る環境影響を的確に把握できる地点		

	放射線の量（建設工事に伴う副産物に係るもの）	水門の工事及びしゅんせつの工事
四　調査地点		流域の特性及び土砂による水の濁りの変化の特性を踏まえて調査地域における放射線に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点
五　調査期間等		流域の特性及び土砂による水の濁りの変化の特性を踏まえて調査地域における放射線に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期
四　予測対象時期等		
一　予測の基本的な手法		
二　予測地域		
三　予測対象時期等		

別表第二の備考に次のように加える。

八　この表において「放射線の量」とは、空間線量率等によって把握されるものをいう。

（放水路事業に係る環境影響評価の項目並びに当該項目に係る調査、予測及び評価を合理的に行うための手法を選定するための指針、環境の保全のための措置に関する指針等を定める省令の一部改正）

第七条　放水路事業に係る環境影響評価の項目並びに当該項目に係る調査、予測及び評価を合理的に行うための手法を選定するための指針、環境の保全のための措置に関する指針等を定める省令（平成十年建設省令第十二号）の一部を次のように改正する。

第五条第三項各号中「環境要素」の下に「（第二十一条第四項第四号及び第五号に掲げるものを除く。以下同じ。）」を加える。

第二十条第一項第二号イ(1)中「次条第三項第一号イ」を「次条第四項第一号イ」に改め、同号イに次のように加える。

(7)　一般環境中の放射性物質の状況